

第128期 第2四半期

事業のご報告

2022年3月1日から
2022年8月31日まで

井筒屋は 「奉仕こそ繁栄の基」

という奉仕の精神を日常の実践的心構えとし

「秩序のうえに立つ創造的繁栄」

をはかることを経営理念と定めています。

目 次

株主の皆様へ	2
営業の概況	2
営業成績および財産の状況の推移(連結)	4
連結子会社	4
財務諸表(連結)	5
井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画 (2022年度～2024年度)について	7
トピックス	8
CSR活動	9
井筒屋グループ百貨店 および主要なショップ	11
株式の状況	13
会社の概要	14
従業員の状況	14
取締役および執行役員、監査役	14
株主優待制度のご案内	15
株主メモ	16
ホームページのご案内	17

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2022年8月31日をもちまして、株式会社井筒屋グループ第128期第2四半期の決算をおこないましたので、ここに事業のご報告をお届けさせていただきます。何卒、ご高覧いただきたく、お願い申し上げます。



代表取締役 影山英雄

営業の概況

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日～2022年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大にいま収束の兆しがみられないことに加え、世界的な緊張による海外景気の下振れリスクや原材料の供給制約・価格高騰が及ぼす影響など、景気を下押しする懸念材料は多く、近年経験したことのない厳しい情勢が先行き不透明な状況のまま続いております。

百貨店業界におきましては、前年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言下での臨時休業要請の反動や、外出機会の増加等により、商況は前年を大きく上回り、復調の兆しが見え始めておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準には至っておりません。

当社グループにおきましては、従来型の規模や量を

追求する事業モデルを見直す契機と捉え、量から質への新たな事業モデルへの道筋をつける「井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画(2022年度～2024年度)」を策定し、推進いたしております。

計画1年目となる本年は、店舗における百貨店らしさを追求するべく、好調カテゴリーの強化を図るとともに、百貨店の強みを活かした編集売場を構築することにより、店舗価値の向上および売場の活性化に努めております。

こうした諸施策を講じてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は11,164百万円(前年同期は売上高25,100百万円)、営業利益は707百万円(前年同期は営業利益293百万円)、経常利益は646百万円(前年同期は経常利益342百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は811百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益352百万円)となりました。

なお、収益認識会計基準等を適用した影響などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,386百万円、売上原価は14,908百万円、販売費及び一般管理費は461百万円それぞれ減少し、営業利益は17百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は47百万円それぞれ減少しております。

当社グループは、コロナ禍においてお客様の安全を第一に考え、様々な感染防止対策をお客様にご協力いただきながら徹底いたしております。

引き続き、お客様に安心してお買い物いただける環境と、魅力ある品揃えやサービスの提供に努めてまいります。

【百貨店業】

当社グループの主要事業であります百貨店業におきましては、本店では、本年3月に、福岡県のまん延防止等重点措置が解除されて以降、徐々に消費の回復傾向がみられ、引き続き高額品などの好調カテゴリーが牽引する中、他商業施設との差別化を図るため、百貨店の強みを活かした取り組みを推し進めてまいりました。

百貨店の強みである自主編集ゾーンの拡充として、本館4階婦人服売場センターゾーンに、美と健康とファッションの融合にこだわったトータルビューティーセレクトショップ「B.more(ビー・モア)」を3月にオープンいたしました。また、4月には、本館5階紳士服売場センターゾーンに、素材やデザイン、製法など、流行に左右されない作り手の想いが込められた服や雑貨などを国内外のブランド問わずセレクトした「Stand up(スタンドアップ)」をオープンいたしました。

本館8階では、地元食材にこだわったイタリアンレストラン「トラットリア ジラソーレ」をオープンし、多くのお客様からご好評をいただいております。

また、催事・イベントに関しても徐々に開催制限が緩和され、約3年ぶりに本新館間クロスロードにて「クロスロードマルシェ」をゴールデンウィークに合わせ開催。地元のグルメや雑貨など約30店舗が出店し、多くのお客様で賑わいました。また期間限定の新規イベントとして6月に創業明治5年、近江の老舗和菓子舗「たねや」を本館1階特設会場にて開催。8月には、世界中の美味しいものを集めた食のセレクトショップ「DEAN & DELUCA(ディーン&デルーカ)」を新館1階特設会場にて開催いたしました。今後もお客様に喜んでいただける百貨店ならではの取り組みを積極的に進めてまいります。

サテライトショップにおきましては、8月8日にイオン戸畑内「戸畑ショップ」を閉店いたしました。長年のご愛顧に心より感謝申し上げます。

山口店におきましては、3月には、「KASHIYAMA」のオーダーメイド取り扱いアイテムを、レディースシューズに加え、新たにメンズ・ウィメンズのスーツ・セットアップまで拡充し、多様なニーズに対応できる売場を構築いたしました。また、地域の魅力発信スペース「コトサイト」会場ではゴールデンウィークに「コトマルシェ～山口県の素敵発見プロジェクト～」と題し、山口県内各地域の特産品や伝統工芸など販売を通じ紹介するイベントを開催いたしました。

また、7月には、山口県宇部市出身の映像作家、庵野秀明氏の「庵野秀明展」が山口県立美術館にて開催されたことを受け、代表作である「エヴァンゲリオン」の公式ストアを同期間限定で開催し、多くのお客様がご来店されました。今後も地域連携を図りながら地元の魅力発信に努めてまいります。

一方、持続可能な社会の実現に向けた取り組みといたしましては、「井筒屋サステナブルアクション」の一環として、「井筒屋オリジナル クリスマスチャリティオーナメント」の収益金の一部を利活用し、お客様とともに森林保全を目的とした「植樹会」を実施いたしました。

北九州市と脱炭素社会の実現に向け、「ゼロカーボンシティを目指す連携協定」を締結し、10月からは全国初の取り組みとなる、自治体と企業間でのEVシェアリングを開始いたします。電気自動車の活用および普及促進や、再生可能エネルギーの導入拡大を進めることで、まちの魅力向上や2050年のCO₂排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組んでまいります。

なお、CSR・ESGに関する取り組みにつきましては、当社ホームページ「サステナビリティレポート」に掲載しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は11,147百万円(前年同期は売上高25,100百万円)、営業利益は762百万円(前年同期は営業利益368百万円)となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は15,403百万円、営業利益は34百万円それぞれ減少しております。

【友の会事業】

友の会事業におきましては、売上高は16百万円(前年同期は株式会社井筒屋友の会が当社グループの百貨店に対して前払式の商品販売の取次を行っており、外部顧客に対する売上高はありません)、営業利益は9百万円(前年同期は営業利益17百万円)となりました。

株主の皆様には倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

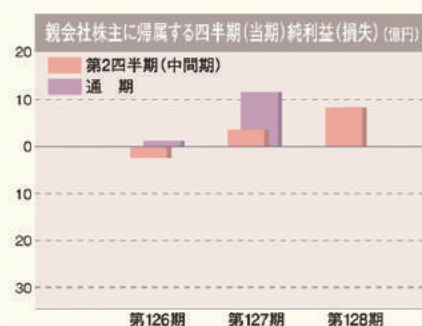
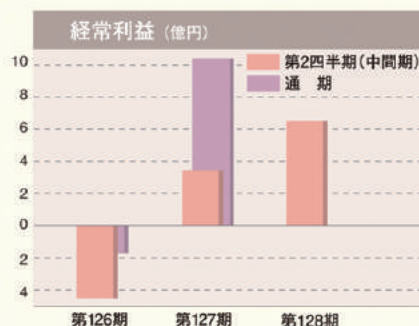
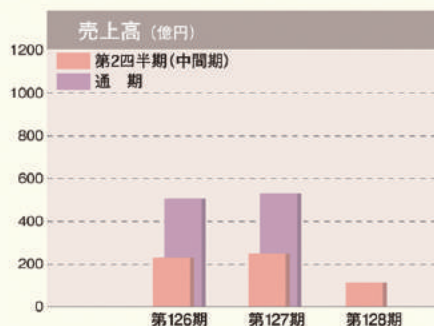
2022年11月

代表取締役 影山英雄

営業成績および財産の状況の推移(連結)

区 分	第126期第2四半期 (2020年3月1日から 2020年8月31日まで)	第126期 (2020年3月1日から 2021年2月28日まで)	第127期第2四半期 (2021年3月1日から 2021年8月31日まで)	第127期 (2021年3月1日から 2022年2月28日まで)	第128期第2四半期 (2022年3月1日から 2022年8月31日まで)
売 上 高 (百万円)	23,256	50,534	25,100	53,144	11,164
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△457	△165	342	1,047	646
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益又は四半期純損失(△) (百万円)	△259	111	352	1,171	811
1株当たり四半期(当期)純利益又は 1株当たり四半期純損失(△) (円)	△22.65	9.73	30.79	102.21	70.87
総 資 産 (百万円)	49,106	47,987	47,184	47,300	47,071
純 資 産 (百万円)	7,856	8,257	8,215	9,029	9,914

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第128期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を適用した後の指標等になっております。



連結子会社(2022年8月31日現在)

- (株)山口井筒屋 (株)レストラン井筒屋
(株)井筒屋友の会 (株)井筒屋商事

財務諸表（連結）

● 四半期連結貸借対照表（単位：百万円）

資産の部	当第2四半期 (2022年 8月31日現在)	前 期 (2022年 2月28日現在)
流 動 資 産	7,700	7,534
現金及び預金	3,601	3,604
受取手形及び売掛金	1,706	1,546
商 品	1,930	1,989
貯 蔵 品	19	21
そ の 他	441	372
貸倒引当金	△ 0	△ 0
固 定 資 産	39,370	39,766
有形固定資産	34,736	35,345
建物及び構築物	10,284	10,819
土 地	24,011	24,011
そ の 他	440	514
無形固定資産	169	195
投資その他の資産	4,465	4,225
差入保証金	1,924	1,980
そ の 他	2,595	2,299
貸倒引当金	△ 54	△ 54
資 産 合 計	47,071	47,300

負債の部	当第2四半期 (2022年 8月31日現在)	前 期 (2022年 2月28日現在)
流 動 負 債	26,193	26,378
支払手形及び買掛金	4,132	3,811
短期借入金	11,833	11,833
未払法人税等	5	35
前 受 金	2,976	7,454
契 約 負 債	4,554	—
その他の引当金	57	183
そ の 他	2,633	3,059
固 定 負 債	10,963	11,892
長期借入金	5,842	6,509
再評価に係る繰延税金負債	3,278	3,278
商品券回収損失引当金	645	854
退職給付に係る負債	750	783
資産除去債務	261	261
そ の 他	184	205
負 債 合 計	37,156	38,270
純資産の部	当第2四半期 (2022年 8月31日現在)	前 期 (2022年 2月28日現在)
株 主 資 本	4,517	3,629
資 本 金	100	100
資 本 剰 余 金	924	924
利 益 剰 余 金	3,520	2,632
自 己 株 式	△ 27	△ 27
その他の包括利益累計額	5,397	5,400
その他有価証券評価差額金	19	21
土地再評価差額金	5,362	5,362
退職給付に係る調整累計額	15	16
純 資 産 合 計	9,914	9,029
負債・純資産合計	47,071	47,300

● 四半期連結損益計算書(単位:百万円)

	当第2四半期 (2022年3月1日から 2022年8月31日まで)	前第2四半期 (2021年3月1日から 2021年8月31日まで)
売上高	11,164	25,100
売上原価	5,589	19,371
売上総利益	5,574	5,728
販売費及び一般管理費	4,867	5,435
営業利益	707	293
営業外収益	238	449
受取利息	0	0
持分法による投資利益	9	91
協賛金収入	11	5
未回収商品券受入	101	159
受取貸料	32	32
助成金の収入	49	98
その他	33	61
営業外費用	299	400
支払利息	164	179
売上割引	—	42
商品券回収損失引当金繰入額	84	111
その他	51	67
経常利益	646	342
特別損失	—	5
税金等調整前四半期純利益	646	336
法人税、住民税及び事業税	5	19
法人税等調整額	△171	△35
法人税等合計	△165	△16
四半期純利益	811	352
親会社株主に帰属する四半期純利益	811	352

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	当第2四半期 (2022年3月1日から 2022年8月31日まで)	前期第2四半期 (2021年3月1日から 2021年8月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,103	612
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△342	△461
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△764	△735
IV 現金及び現金同等物の増減額	△2	△584
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,604	3,928
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,601	3,343

(注1) 四半期連結貸借対照表及び四半期連結損益計算書に関しては、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第128期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を適用した後の指標等になっております。また、当該会計基準を適用したことにより、第127期第2四半期連結計算書については、遡及適用後の数値を記載しております。

(注2) 本財務諸表に記載の金額の表示単位未満は、切り捨てて表示しております。

井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画(2022年度～2024年度)について

当社グループでは、新たに「井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画(2022年度～2024年度)」を策定いたしました。本計画につきましては、コロナ禍により加速・顕在化した環境変化を踏まえ、従来型の規模や量を追求する事業モデルを見直す契機と捉え、量から質への「新たな事業モデルへの道筋をつける中計」と位置づけ、中長期の戦略実現に向けた検討・準備と、グループ保有資産の更なる強化に努めてまいります。

1. 当社グループのビジョン

グループビジョン:「地域小売業のリーディングカンパニーとして発展していく」

事業戦略 サステナビリティを基盤とした“質”の追求

当社グループに関わる全てのステークホルダー(顧客、取引先、従業員、株主)ならびに地域社会とのつながりの“質”を深化させ、地域共創基盤として持続可能な地域社会の発展に寄与してまいります。

営業戦略 リアルとデジタルの両面からお客様へ上質な人生を提案する。

顧客情報を統合し諸施策に活用することで、店舗やネットショッピング等複数のチャネルを通じて顧客ニーズへ対応してまいります。

2. 戦略の方向性

短中期

●店舗における百貨店らしさの追求(競争優位性の確立・差別化)

自主編集運営ゾーンの刷新等による店舗価値の向上を図ってまいります。

●効率的な店舗運営と効果的な販売促進体制の維持(収益性の維持・向上)

SNS活用等効果的な宣伝経費運用により高収益構造の維持に努めてまいります。

中長期

●デジタルデバイスを基軸とした顧客単価向上(顧客接点の創造)

井筒屋アプリの導入により顧客統合基盤を構築し、効率的な営業施策を推進してまいります。

●優良顧客基盤×デジタルデバイスの活用(新たな収益基盤の確立)

将来的には、統合された顧客情報を活用し、顧客の求めるソリューションを提供してまいります。

3. 本中計1年目(2022年度)の数値目標

連結業績	目標値(2022年度) 本中計1年目 ※収益認識基準適用後	実績(2021年度) ※前中計最終年度	目標値(2022年度) 本中計1年目 ※収益認識基準適用前	対 比
売上高	228億円	531億円	524億円	△7億円
営業利益	9億円	12億円	12億円	△0億円
営業利益率	3.9%	2.4%	2.3%	△0.1%
経常利益	7億円	10億円	7億円	△3億円
経常利益率	3.1%	2.0%	1.3%	△0.7%

現時点におきましては、中計1年目となる2022年度の数値計画のみを策定し、中計2年目以降の数値計画につきましては、外部環境の影響による業績動向を踏まえた上、策定・開示を行ってまいります。

トピックス

〈自主編集ショップ〉本館4階 婦人服売場(ビー・モア)



B more
even more beautiful

美と健康とファッションの融合にこだわったトータルビューティーセレクトショップです。話題の美容器具や、美容サロンでのみ取扱いのヘアケア商品、エイジングケアコスメや、フレグランス、ファッション、パーソナルギフトなど、日々をもっと楽しく美しく健康的に過ごすための厳選した商品を取揃えております。

〈自主編集ショップ〉本館5階 紳士服売場(スタンドアップ)

**St
and
up**
Discover the essence

素材やデザイン、製法など、流行に左右されない作り手の想いが込められた服や雑貨などを国内外のブランド問わずセレクトしております。



〈本館8階〉ジラソーレ・コクラ



地元食材にこだわったイタリアンレストランです。ジラソーレとはイタリア語で「ひまわり」を意味します。

〈クロスロードマルシェ〉



約3年ぶりに本館間クロスロードにて「クロスロードマルシェ」をゴールデンウィークに合わせて開催いたしました。

〈山口店〉コトマルシェ



「コトサイト」会場において、ゴールデンウィークに「コトマルシェ〜山口県の素敵発見プロジェクト〜」と題し、山口県内各地域の特産品や伝統工芸など販売を通じて紹介するイベントを開催いたしました。

〈山口店〉 「エヴァンゲリオン」公式ストア



山口県宇部市出身の映像作家、庵野秀明氏の「庵野秀明展」が山口県立美術館にて開催されたことを受け、代表作である「エヴァンゲリオン」の公式ストアを同期間限定で開催いたしました。

CSR活動基本方針

井筒屋グループは、「秩序の上に立つ創造的繁栄」を経営理念とし、CSR活動を経営の重要課題として位置づけ、地域小売業のリーディングカンパニーとして発展していくことを目指しています。私たちはESGの視点から、E：環境保全に関する活動、S：地域社会での貢献活動、G：ガバナンスの強化をそれぞれ積極的に推進し、将来にわたって持続的に取り組み、企業価値の向上に努めます。

CSR活動を推進するにあたり、下記のとおりサステナビリティ基本方針ならびにESGそれぞれの方向性や重点課題を定め、「地域共創」により持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。

サステナビリティ基本方針

私たちは、店舗周辺の河川や公園などの公共空間を活かした「環境共生型百貨店」を、地域と共に創出してまいります。この「地域共創」により、かかわりのあるすべての人々の豊かな未来と持続可能な社会の実現に向け、役割を果たしてまいります。

井筒屋グループESGについて

サステナビリティ重点課題 (ESG×SDGs)

ESG視点	方向性	重点課題	SDGs(目標)
E(環境)	環境保全と経済成長の両立による 企業価値の向上と事業基盤の強化	脱炭素社会の実現	  
		サステナブルライフの推進	  
		サプライチェーン・マネジメント	  
S(社会)	働きやすい職場環境の整備や 多様な人材が活躍できる機会の創出	地域活性化・賑わい創出	 
		ワークライフバランスの充実	 
G(ガバナンス)	コーポレートガバナンスの遵守	ダイバーシティ&インクルージョン	 
		ガバナンス体制構築とリスクマネジメント	

井筒屋サステナブルアクション ～ I Think. ～

サステナブルなモノやコトを通じてSDGsや地球環境について、持続可能な社会の実現と、豊かな未来を創造するために、井筒屋「I」も私たち一人ひとり「I」も、みんなで考え、行動し、積み重ねてまいります。



井筒屋グループとして取り組んでいる主なサステナブル活動をご紹介します。

年間催事

サステナブル商品や ライフスタイルの提案

サステナブルな天然・リサイクル素材を利用した環境に配慮した商品や、フェアトレード、エシカル消費などライフスタイルの提案を実施。



2021年9月～

アップサイクルへの取り組み

当社にて使用済みコピー用紙を回収後、紙資源として再生。NPO法人にて障がい者の方々の作業により、きたきゅうコロンブスの紙袋としてアップサイクルされ、同売場でお客様に提供する資源の循環活動。



2021年11月～

北九州市SDGs登録事業者認定

SDGsの達成に寄与する企業等の取組を「見える化」し、地域のSDGsの取組の誘発・加速を図る制度であり、2021年11月に第一次登録事業者として認定。



2021年7月～

「サステナブルライフ」ブログ開設

総務部CSR・ESG担当者発信のブログ。当社のCSR活動を、井筒屋facebookやLINEと連携し、YやZ世代などより幅広い層に向けPR。



2022年4月・10月

北九州市との連携協定締結及びEVシェアリング実証

本年4月に脱炭素社会の実現に向けて、北九州市と連携協定を締結。また、10月より、当該連携協定に基づき、自治体一企業間では全国初の取り組みとなる「EVシェアリング実証事業」を開始。



2022年11月

森林保全クリスマスチャリティ オーナメント販売・植樹会

サステナブル活動の一環として、産学官連携で取り組む「京築のヒノキと暮らすプロジェクト」と協働で制作した井筒屋オリジナルのクリスマスオーナメントを本年も販売。持続可能な地域の森林保全を実現するために、収益の寄付及び植樹会を継続して実施。



当社のCSR活動につきましては、当社のHPの「企業情報CSR」に掲載しております。

井筒屋ホームページ

<https://corp.izutsuya.co.jp/sustainability-report/>

スマートフォンの
方はこちらから



井筒屋グループ百貨店および主要なショップ



本店 〒802-8511
北九州市小倉北区船場町1番1号
電話(093)522-3111



山口店 〒753-0086
山口県山口市中市町3番3号
電話(083)902-1111



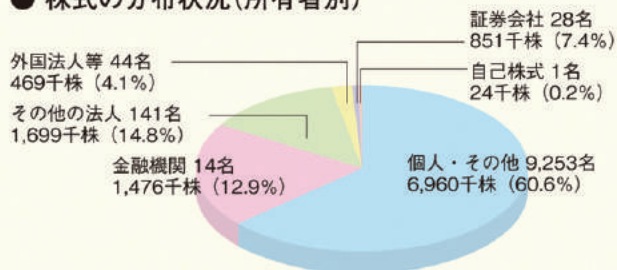
- 北九州空港店 北九州市小倉南区空港北町6番
〒800-0306 電話(093)475-0102
- 守恒ショップ 北九州市小倉南区守恒一丁目11番25号
〒802-0972 電話(093)963-4370
- 下曾根駅前ショップ 北九州市小倉南区下曾根新町10番1号
〒800-0221 電話(093)475-5671
- 二島ショップ 北九州市若松区二島一丁目3番1号
〒808-0103 電話(093)701-0655
- 高須ショップ 北九州市若松区高須南二丁目2番1号
〒808-0145 電話(093)741-3286
- イオンタウン黒崎ショップ 北九州市八幡西区西曲里町3番1号
〒806-0036 電話(093)643-5111
- 三ヶ森ショップ 北九州市八幡西区三ヶ森三丁目9番1号
〒807-0843 電話(093)613-3001
- 中間ショップ 福岡県中間市蓮花寺一丁目2番
〒809-0014 電話(093)246-2000
- 直方ショップ 福岡県直方市知古756
〒822-0022 電話(0949)24-0311
- イオンモール直方ショップ 福岡県直方市湯野原二丁目1番1号
〒822-0008 電話(0949)28-7390
- 田川ショップ 福岡県田川市日の出町1番3号
〒825-0012 電話(0947)45-2785
- 苅田ショップ 福岡県京都郡苅田町殿川町1番7号
〒800-0312 電話(093)436-2100
- ゆめタウン行橋ショップ 福岡県行橋市西宮市三丁目8番1号
〒824-0031 電話(0930)28-8273
- 飯塚ショップ 福岡県飯塚市枝国長浦666番48号
〒820-0081 電話(0948)22-3130
- 宗像ショップ 福岡県宗像市くりえいと一丁目5番1号
〒811-4184 電話(0940)35-6132
- 中津ショップ 大分県中津市蛭子町三丁目99番地
〒871-0065 電話(0979)23-8555
- 周南ショップ 山口県周南市銀南街33番地
〒745-0031 電話(0834)33-1228
- 宇部ショップ 山口県宇部市黒石北三丁目4番1号
〒759-0213 電話(0836)39-8887

株式の状況 (2022年8月31日現在)

● 株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	11,480,495株
一単元の株式の数	100株
株主数	9,481名

● 株式の分布状況(所有者別)



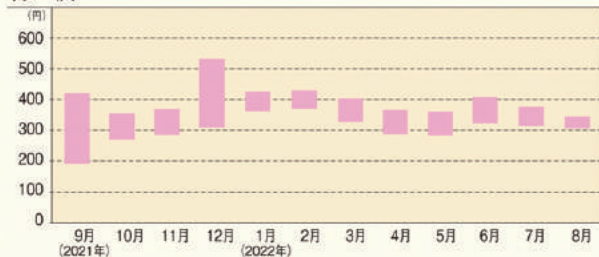
● 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
井筒屋共栄持株会	1,105千株	9.6%
西日本鉄道株式会社	1,052	9.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	579	5.1
日本証券金融株式会社	320	2.8
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	194	1.7
JPモルガン証券株式会社	165	1.4
株式会社SBI証券	161	1.4
楽天証券株式会社	140	1.2
株式会社北九州銀行	139	1.2
井筒屋社員持株会	129	1.1
合計	3,987	34.8

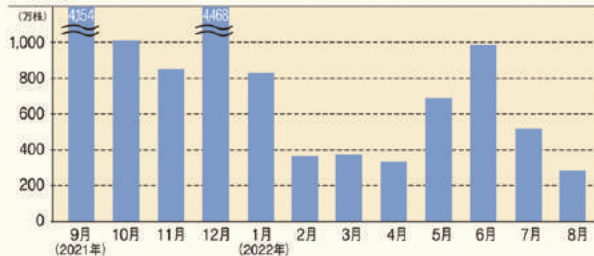
(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

● 株価および出来高の推移

株価



出来高



会社の概要 (2022年8月31日現在)

□ 設 立 1935年7月30日
□ 開 店 1936年10月6日
□ 資 本 金 100,000,000円

□ 事業内容 百貨店事業
□ 本 社 北九州市小倉北区船場町1番1号
電話 (093) 522-3111

従業員の状況 (2022年8月31日現在)

□ 井筒屋グループの従業員の状況

事業の種類別の区分	従業員の数	前期末増減
百貨店業	730名	41名減
友の会事業	1名	増減なし

□ 株式会社井筒屋の従業員の状況

区 分	従業員の数	前期末増減	平均年齢	平均勤続年数
男 性	224名	20名減	53.4歳	18.6年
女 性	401名	16名減	46.8歳	15.3年
合計または平均	625名	36名減	49.1歳	16.5年

取締役および執行役員、監査役 (2022年8月31日現在)

● 取締役および執行役員

代表取締役
社長執行役員 影山 英雄
取 締 役
常務執行役員 兼石 一郎
取 締 役
常務執行役員 吉田 功
取 締 役
執行役員 松本 圭
取 締 役 安田堅太郎 社外 独立
取 締 役 窪田 弥生 社外 独立
執行役員 桶谷祥太郎
執行役員 大森俊介

● 監査役

常勤監査役 赤坂 英典
監 査 役 成 清雄一 社外 独立
監 査 役 藤田光博 社外
監 査 役 梅田久和

I. 『株主お買物優待券』について

1. ご優待券の発行基準

2月末日および8月末日現在、100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおりお買物優待券を発行いたします。

100株以上	300株未満	10枚
300株以上	500株未満	20枚
500株以上	1,000株未満	30枚
1,000株以上		50枚

2. 取扱店舗

本店、山口店、井筒屋サテライトショップ各店

3. 有効期限(今回発行分)

2023年5月31日まで有効

4. ご優待方法

①上記各店舗で現金による本体価格2,000円以上のお買物(適用除外品目および売場を除く)1回につき、消費税を含むお買物代金の7%を割引いたします(ただし、割引額の1円未満は切り捨て)。

なお、お支払いにつきましては現金、井筒屋商品券(井筒屋・井筒屋グループ発行の商品券)、井筒屋ギフトカードのほか、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカードに限りです。

②1回のお買物につき優待券1枚のご使用となります。

③適用除外品目および売場

- 商品券、各種ギフトカード・進物券
- たばこ、はがき、切手、印紙、クオカード、図書カード、前売券、各種回数券
- 金・白金の地金、住宅(含関連工事)、保険料、駐車料金、荷具送料
- ルイ・ヴィトン、ロレックス、ティファニー、アーバンリサーチ、ビューティアンドユースユナイテッドアローズ、その他一部のブランドおよびショップ
- 家電売場、旅行センター、ブックセンタークエスト、モンベル、カフェコムサ、ポーコンセプト
- 代金引換配送、掛売入金および各種優待券との併用使用(友の会券・カード、ウイズカードとの併用はできません)
- 正札よりの割引商品
- その他特に指定したもの

なお、適用除外品目および売場につきましては、予告なく変更させていただきます。ご了承ください。

※詳しくは店頭にて係員にお尋ねください。

5. お願い

ご利用の際には株主様のご署名をお願いいたします。

II. インターネットショッピング『井筒屋オンライン』でのお買物優待割引について

1. ご優待内容

①ご優待の基準

2月末日および8月末日現在、100株以上ご所有の株主様に対し一律。

②ご優待方法

インターネットショッピング『井筒屋オンライン』でのお買物(適用除外品目および売場を除く)1回につき、消費税を除くお買物代金の7%を割引いたします(ただし、割引額の1円未満は切り捨て)。

なお、お支払いにつきましては、クレジットカード1回払いのご決済のみとなります。

2. 有効期限(今回対象分)

2023年5月31日まで有効

※有効期限までは何度でもお買物にご利用いただけます。

3. ご利用方法

インターネットショッピング『井筒屋オンライン』(<http://www.izutsuya-online.co.jp/>)にアクセスすることでご利用いただけます。詳細につきましては本書同封の「株主ご優待制度のご案内」をご参照ください。

4. 適用除外品目および売場

前記I.『株主お買物優待券』についての4.ご優待方法の③に記載の適用除外品目および売場に同じです。

5. ご注意

- (1)株主様ご本人の個人クレジットカード名義でのお買物に限らせていただきます。
- (2)株主お買物優待券のご提示やご郵送の必要はございません。
- (3)株主お買物優待券の他、各種特典割引との併用はできません。
- (4)送料につきましては、割引の対象となりませんのでご了承ください。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
剰余金の配当受領株主確定日	2月末日 その他取締役会決議により定める日
基準日	定時株主総会関係 2月末日 その他あらかじめ公告して定める日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※貸借対照表および損益計算書につきましては、以下のアドレスに掲載しております。 http://www.izutsuya.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵送物送付先・電話お問合せ先	

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

上場証券取引所	東京・福岡
証券コード	8260
ホームページアドレス	http://www.izutsuya.co.jp/

ホームページアドレス <http://www.izutsuya.co.jp/>

■井筒屋 TOP PAGE



井筒屋ホームページは、毎週の催物やサービス・施設のご案内から企業・投資家情報まで掲載しております。手軽にご家庭でもショッピングをお楽しみいただけます。

■企業・投資家情報

決算情報、株式の状況、ニュースリリースなど投資家の皆様への情報を掲載しています。



■井筒屋各店舗の最新情報

お買得情報やイベント情報、新着商品のご案内など、毎週お得な情報を満載してお届けしています。



■オンラインショッピング

ギフト商品や話題の商品を自宅で楽々、ネットショッピングできるオンラインモールです。



■WEB会員サービス



■WEBチラシ



※当画面情報は本紙作成時点のものです。

memo